

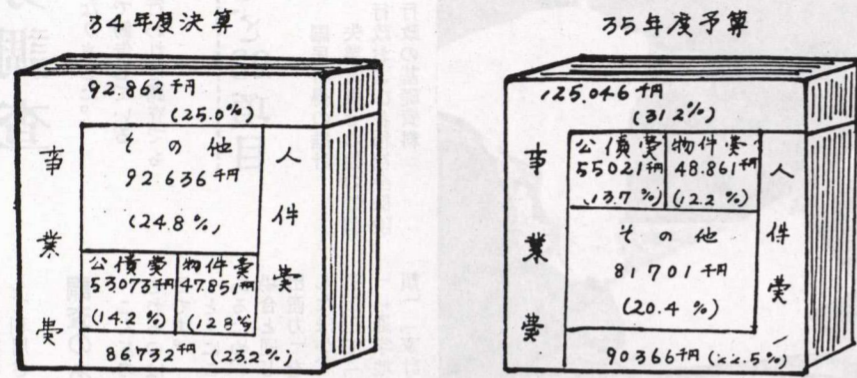
留萌市の財政事情

昭和35年度第2回
留萌市財政事情説明書
留萌市長 橋本作市

7月中の人口のうごき

世帯数	9,149世帯
総人口	39,884人
男	19,984人
女	19,700人
出生	17人
死亡	10人
転入	125人
転出	123人
男女計	36人
男女計	18人
男女計	220人
男女計	234人

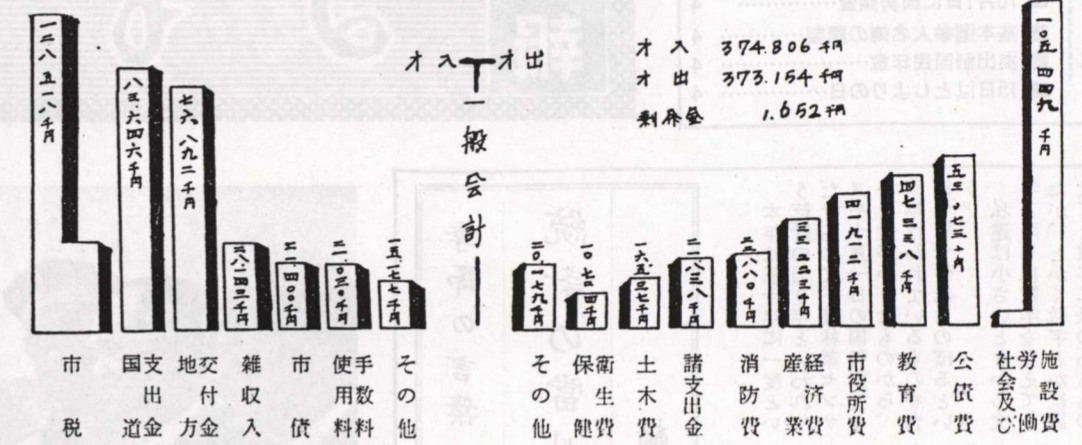
一般会計才出経費別分類



のびゆく留萌市 市制施行13年目を迎え、貿易港留萌を中心に広がる留萌市は、都市計画による整然とした道路にそつて、学校、住宅、公園と着々とその充実が進められている。本年は東光小付近一帯の中部花園地区と昨年に続き元町地区の都市計画が行われ、一方増毛、小平隣接町村との経済提携や留萌地区工場適地調査も行われるなど、近代的な臨海工業都市への発展が続けられている。

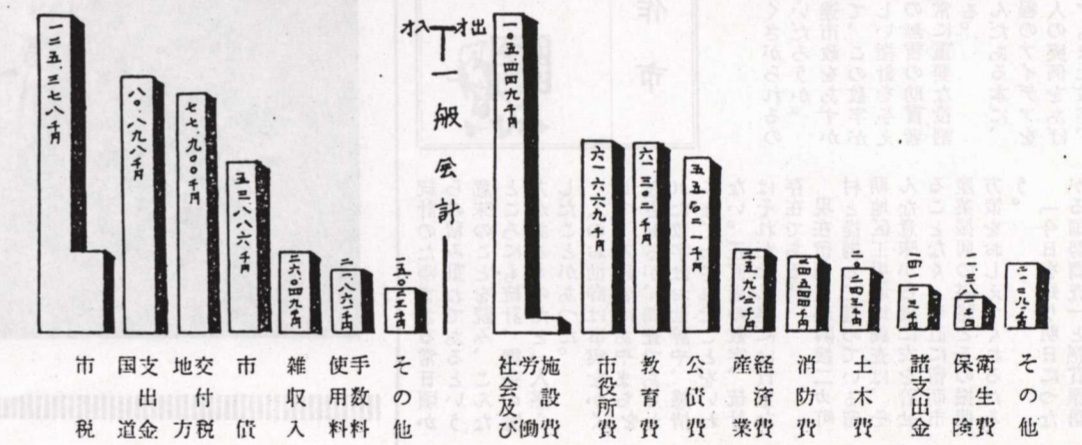
写真提供：朝日新聞社

昭和34年度決算状況

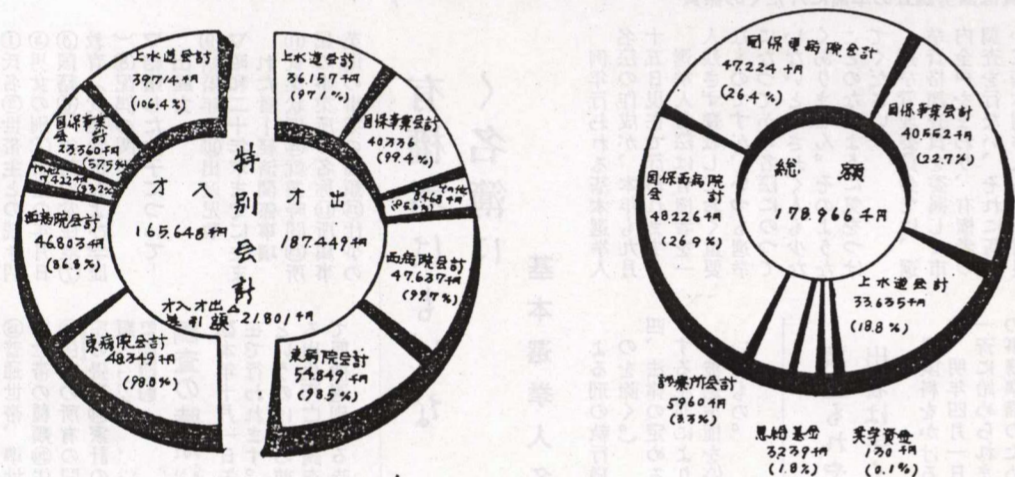


昭和35年度当初予算

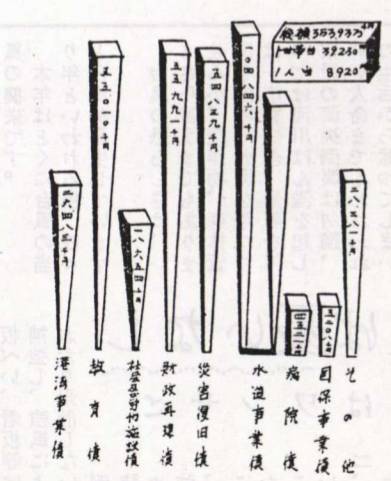
予算総額 4億99万円



特別会計

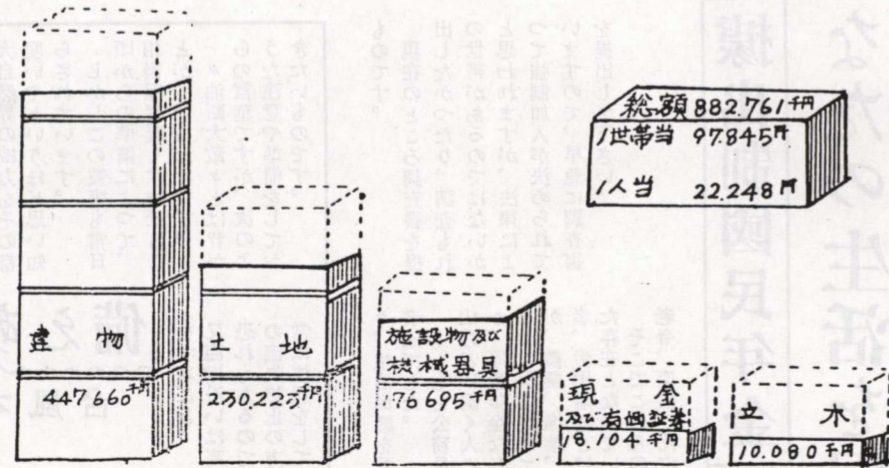


市債現在高 (35.3.31現在)



市有財産

(35.3.31現在)



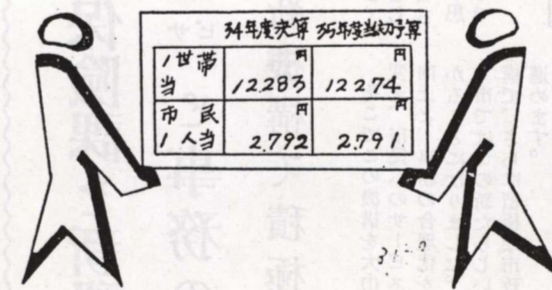
予算、決算の概況

昭和三十四年度の決算は、各会計とも前年度同様五月三十一日をもって出納閉鎖いたしました。一般会計においては、種々の予算追加の要因を有しながらも市税の増収について、市民の皆様のご協力的な御協力により収納率六四％と前年度に比し、六分増の成績をおさめ、更に経費の効率的な使用と節減の努力により財政収支の均衡を保持し、一六二万円の剰余金をもつてのすむことができました。

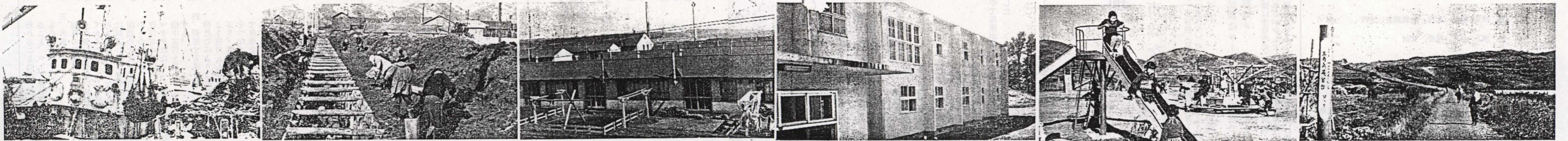
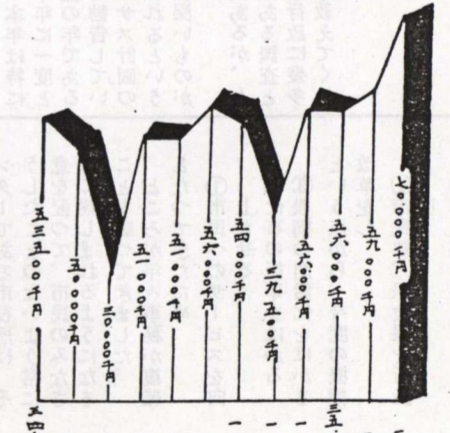
特別会計においては、総額二、一八〇万円の赤字ですが、国民健康保険事業会計において、あらたに四五三万円の計画赤字が発生したほか、東、西、南、北四院等において、一四五七千円の赤字を解消しました。上水道会計においては、前年度より五四一十千円の黒字が渡り、特別会計においては、八四八万円の赤字解消となつております。

昭和三十五年予算中、一般会計については、才出において前年度に比し、二、七七一万円の増額、事業費の内容としては、庁舎建設、公営住宅建設、礼受、留萌、藤山等各小中学校の建設、消防ポンプ自動車購入、留萌橋の改修、失業対策事業等を計上しております。特別会計においては、八四八万円の赤字解消となつております。

市税の負担状況



昭和34年度一時借入金月末現在高



産業振興はとりもなおさず留萌市の振興であるが、この立ち遅れた産業を高変化するため、函根町村と経済提携をし、更に留萌地区工場適地調査を行い科学的な解明を進めている。また商工、農漁業の既存産業育成にも力を入れ、1,200万円の貸付金制度を実施している。

住むに快適な街づくりのため長期総合計画による都市計画が進められ、本年は元町と中部花園地区で区劃整理。とくに道路、側溝の整備は34年から38年までの5カ年計画を樹て、続けられている。

明るい市民生活へと明るい市営住宅が建てられている。住宅団地の造成も都市計画の一つとして進められ、昨年より米軍キャンプ跡地を黄金団地として公営住宅の建設をしている。

文教の充実は、本年度施策の最重点としてとりあげられています。このため留萌中学校の分教場を新築するほか、藤山小学校の新築、礼受、藤山小学校の増設が計画されています。一方社会教育の振興に、近く々る公民館も実現される予定です。

健康な子供を育てるため公園の造成とともに、子供達の遊戯施設も充実されなければならない。市には見晴公園、開港そばの児童遊園地、それに本年完成した元町児童遊園地が造られ、子供達の夢が結ばれている。

先進都市では、市民の休息の地をみつめるのに大きな悩みを持ち、その解決がなされている。市ではこのため休息地の少ない留萌市に家族連れハイコースとして三年前から三角点展望台の造成を進めている。